

様式 C - 2 〔記入例〕

繰越（翌債）を必要とする理由書

研究課題	事業概要	(当初計画) 変更後の計画	事由
<p>課題番号 18345677 研究課題名 に関する研究</p>	<p>に関する材料について……の 実験や を通じた研究 を行う。</p>	<p>&lt;当初計画&gt; 実験準備 平成18年4月～9月</p> <p>実験 平成18年10月～ 平成19年1月</p> <p>データ分析・ま とめ 平成19年2月～3月</p> <p>&lt;変更後の計画&gt; 実験準備 平成18年4月～9月</p> <p>実験 平成19年4月～7月</p> <p>データ分析・ま とめ 平成19年8月～9月</p>	<p>計画に関する諸条件キ（研究者の確保） （ ）の中には、「具体的な内容」を簡潔に表す表題を記入すること。</p> <p>具体的な内容 当初の研究計画は について卓越した技量を持った研究者である 研究者（研究支援者）に参加頂くこととしていたが、 研究者（研究支援者）の所属先研究機関での研究に予期しない重大な変更（ 研究者の共同研究者の予期しない人事異動により一人で実験を遂行せねばならず研究期間が延長した）が生じ、当該研究への参加が平成19年4月以降となった。このため、 研究者を平成18年度中に雇用することが出来ず、 研究者が担当する実験が半年間まったく出来なくなったため、補助事業の年度内の完了が困難となった。</p> <p><u>交付決定時には予想できなかった事態が発生した時期、補助事業を年度内に完了できないやむを得ない事由、解決に要する期間を記載</u></p> <p>経費を繰越す必要性 この研究計画の一部となる についての実験及び実験データの分析が当初計画通りに実施できなくなり、平成18年度中に研究をまとめることが不可能となった。 補助事業を完了するためには、 についての実験とデータ分析・まとめに係る経費を繰越し、実験を実施し、データを分析しまとめる必要がある。</p> <p>補助事業の完了時期 平成19年9月30日 <u>平成18年度事業（当該繰越に係る事業）の完了時期を記載 研究課題全体の完了時期ではないので注意</u></p>

様式 C - 1 , 様式 C - 2 , 様式 C - 3 【作成上の注意】

様式 C - 1 繰越（翌債）承認要求額の算定根拠

1. 研究課題ごとに別葉として作成すること。
2. 「繰越（翌債）承認要求額」欄について  
繰越（翌債）承認要求額について、「直接経費及び間接経費の合計」、「直接経費」、「間接経費」の額を記入すること。また、直接経費についての費目別使用内訳を記入すること。  
間接経費が措置されている研究種目については、繰越（翌債）承認要求を行う直接経費の 30 % に相当する額の間接経費も繰越（翌債）承認要求を行うこと。
3. 「算定根拠」欄について  
繰越（翌債）承認要求額の算定根拠について、内訳（単価、数量等）も含めて、記入すること。

様式 C - 2 繰越（翌債）を必要とする理由書

1. 研究課題ごとに別葉として作成すること。
2. 「研究課題」欄について  
課題番号と研究課題名を記入すること。  
「特別研究員奨励費」の課題番号は、内定一覧に記載された「採用年度・受付番号」を記入すること。  
(例. 平成 16 年度の採用の特別研究員で受付番号が 1 2 3 4 の場合の課題番号 : 「16・1234」)
3. 「事業概要」欄について  
研究課題の概要について記入すること。
4. 「(当初計画)変更後の計画」欄について  
上段に「当初計画」を下段に「変更後の計画」を記入すること（この記載内容を様式 C - 3 において図示すること）。
5. 「事由」欄について  
繰越（翌債）承認を要求しようとする繰越事由に最も類似するものを左欄から選び、それに該当する右欄の「記号等」（財務省通知に基づくもの）を冒頭に記入すること。  
「記号等」の（ ）内には、繰越（翌債）承認要求の「具体的な内容」を簡潔に表す表題を記入すること。  
「具体的な内容」の項目には、交付決定時には予想し得なかった要因が生じた時期、その要因の解決にかかる期間、補助事業を年度内に完了することができない理由を具体的に記入すること。その際、経費を繰越す必要性、補助事業の完了時期も併せて示すこと。

繰越事由	記号等
〔研究に際しての事前の調査〕 (例) 研究に際しての事前の調査に予想外の日数を要したため	研究に際しての事前調査又は研究方式の決定の困難 ア
〔研究方式の決定の困難〕 (例) 研究方式の決定に予想外の日数を要したため	研究に際しての事前調査又は研究方式の決定の困難 イ
〔計画に関する諸条件〕 (例) ・ 新技術・新材料及び新規条件の出現により当初計画の改良 ・ 変更により予想外の日数を要したため ・ 国際シンポジウム等の招へい研究者の事情急変により国際シンポジウム等の開催計画の見直しにより予想外の日数を要したため ・ 諸外国との共同研究において当初計画の改良・変更により予想外の日数を要したため ・ 研究の進捗状況に応じた評価の実施により当初計画の改良 ・ 変更により予想外の日数を要したため ・ 優秀な研究者の適時確保の必要性により当初計画の実施に予想外の日数を要したため ・ 当初予定していた成果が得られないことが判明したことにより当初計画の改良・変更により予想外の日数を要したため	計画に関する諸条件 キ (具体的な内容)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 予想し得なかった新たな知見が得られたことにより当初計画の改良・変更により予想外の日数を要したため</li> </ul>	
〔気象の関係〕	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豪雨（ 月）のため、当初計画の実施に予想外の日数を要したため</li> </ul>	気象の関係 ア（ 月）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 豪雪（ 月）のため、当初計画の実施に予想外の日数を要したため</li> </ul>	気象の関係 イ（ 月）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 風浪（ 月）のため、当初計画の実施に予想外の日数を要したため</li> </ul>	気象の関係 ウ（ 月）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 気象の関係により当初計画の実施に予想外の日数を要したため</li> </ul>	気象の関係 エ（具体的な内容）
〔資材の入手難〕 （例）	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 研究計画遂行上必要となる研究用設備の納入の遅延のため当初計画の実施に予想外の日数を要したため</li> <li>・ 希少な素材、材料、実験用動植物の入手困難のため当初計画の実施に予想外の日数を要したため</li> </ul>	資材の入手難 ウ（具体的な内容）

様式 C - 3 研究計画行程表

1. 研究課題ごとに別葉として作成すること。
2. 「課題番号」欄について  
「特別研究員奨励費」の場合は、内定一覧に記載された「採用年度・受付番号」を記入すること。  
（例．平成16年度の採用の特別研究員で受付番号が1234の場合の課題番号：「16・1234」）
3. 「研究課題名」欄について  
「特別研究員奨励費」の場合は、内定一覧に記載された「採用年度・受付番号」を記入すること。  
（例．平成16年度の採用の特別研究員で受付番号が1234の場合の課題番号：「16・1234」）
4. 「当初」欄及び「変更後」欄について  
様式 C - 2 の「(当初計画) 変更後の計画」欄の内容について、線表で示すこと。